

学生と企業を「地域」でつなげるプロジェクト- team 結-

分野：地域交流

代表者：人文社会科学部人間文化学科 2年 廣木 彩乃

連携先

株式会社カスミ
株式会社日宣メディアックス
医療法人博仁会

参加者

岸朱里
(人文社会科学部現代社会学科 2年)
鈴木葵
(人文社会科学部現代社会学科 2年)
青木玲奈
(人文社会科学部法律経済学科 2年)
小野瀬篤美
(人文社会科学部法律経済学科 2年)
重富優希
(人文社会科学部法律経済学科 2年)
廣木彩乃
(人文社会科学部人間文化学科 2年)

プロジェクトの概要

「地域」と関わる仕事に興味を持つ学生と「地域」と関わる仕事・活動をしている企業との交流会の企画を行う。

●背景

近年、教育の場や社会において「地域」への関心が高まっている。当大学も、地域志向教育や事業の推進等に力をいれており、このような流れのなかで、「地域」に興味を持つ学生の増加が見られる。

そうした学生が卒業後も「地域」で活動し

たいと考えたときに、「地域」と関わるとはどういうことなのか、「地域」と関わる仕事にはどのようなものがあるのかという疑問が生じる。

また、「地域」と関わる仕事について情報を得たいと考えた際には、学内において県内企業の説明会は開催されているが、「地域」との関わりというテーマごとに企業を集めた企画は現時点では開催されていないという問題が生じる。さらに、大学内のキャリアセンターやその他団体・企業等が主催している説明会は1、2年生には参加の心理的敷居が高く、そもそも1、2年生向けの企画は少ない、または認知されていないといった問題点がある。

上記のような疑問・問題点をまとめると次のような解決すべき現状が明らかになる。それは、「地域」に興味を持つ学生が増加してきているなか、そのような学生が、卒業後も「地域」で活動したい、将来「地域」と関わる仕事に就きたいと考えたときに、十分な情報を得られる機会が少ないということである。私たちには、自らの将来や「地域」との関わり方について考えるための情報とそれを知る場が不足していると考えた。

このような現状を解決するため、私たちは、実際に社会で「地域」に関わる仕事・活動をしている方々から「地域」との関わり方についてのリアルな情報を得るための場、そして、自らの「地域」との関わり方について考えるきっかけを、自分たちの手で作る

うと考え、当プロジェクトを立ち上げた。

●目的

- ・様々な「地域」との関わり方を知る
- ・将来や就活について考えるきっかけとする
- ・「地域」と関わる仕事の魅力を知る

プロジェクトの成果報告

●企画概要の決定（現時点での予定）

- ・日時 6/19（水）
- ・場所 茨城大学図書館
本館1階 共同学習エリア
- ・対象年次 1～3年生（4年生可）
- ・参加企業 5社程度
- ・内容
それぞれの活動・取り組みについて、各企業様からプレゼンテーションを行っていただき、その後、個別ブースにて学生との交流を行う。

●「地域」と関わるとは何か？

「地域」と関わる仕事・活動をしている企業様を交流会にお呼びするにあたって、どのような企業が「地域」と関わっているといえるのか、私たちなりの定義を考えた。

まず、「地域」の定義である。「地域」とは、ある一つ一つの場所、単位（県、市町村、地区など）のことを指す。しかし、それはただの空間を示す言葉ではない。そこには、住む人や訪れる人、モノや経済などの交流やつながりが存在する。私たちは、この中身としての「地域」に重きを置いて考える。

次に、「地域」と関わるということの意味である。「地域」と関わるということは、先述した、中身としての「地域」と関わりを持

つこと、その「地域」にいる人々やモノ、経済とつながりを持つことであると私たちは考えた。

このような考えのもと、具体的に企業が「地域」と関わる時に、どのような関わり方があるのかを、次の2種類に分類して考えた。

・企業と地域との関わり方

- 1) 企業が存在することによる人・地域への貢献
(例：雇用、社内制度、働きやすさ、税金、経済など)
- 2) 企業が活動することによる人・地域への貢献
(例：事業、商品、サービス、その他の社会貢献活動など)

この2種類の関わり方のなかで、私たちは特に2)の企業が活動することによる人・地域への貢献に着目して当プロジェクトを進めて行く。

●企業への訪問

上記の定義を踏まえて、お話を伺いたい企業様を冊子やHP等で調べ、アポイントを取った。今回は、志村大宮病院フロイデ総合在宅サポートセンター水戸河和田様と日宣メディックス(株)様、そして金砂郷食品(株)様、カスミ(株)様の計4社に伺わせていただいた。訪問の際には、各企業様の活動や「地域」との関わりについて教えていただき、メンバーから当プロジェクトについてのご説明ののち、企画への参加・ご協力を依頼した。

結果、志村大宮病院フロイデ総合在宅サ

ポートセンター水戸河和田様と日宣メディックス（株）様の計 2 社にご協力をいただくこととなった。また、カスミ（株）様にもご検討していただけることとなった。

●今後の展望

現在、参加企業枠が 5 社程度のところ、残り 2 社の枠が残っているため、引き続き企業を探しつつ、交流会の実現に向けた準備を進めて行く。企画詳細についての決定や、運営に必要な事柄の確認・準備を行う。また、学生向けにチラシ・ポスター等を作成し、交流会の広報活動を進めて行く予定である。